

令和7年度 第4回こども・若者会議 報告書



日 時：令和7年10月4日（土）

14：00 ～ 16：10

場 所：パピオスあかし6階 こども健康センター

（明石市大明石町1丁目6－1）

第4回こども・若者会議の概要

1 開催日時

令和7年10月4日（土）14:00～16:10

2 場所

パピオスあかし6階 こども健康センター（明石市大明石町1丁目6-1）

3 当日参加者（17名）

小学2年生…1名

小学3年生…2名

小学4年生…4名

小学5年生…1名

小学6年生…1名

中学2年生…1名

中学3年生…2名

高校2年生…2名

大学3年生…1名

若者（25歳～29歳）…2名



4 プログラム

	項目	目安 時間	詳細内容
1	開会	14:00 (2分)	司会：永井綾乃（こどもセンター）
2	なかよしタイム ・ フルーツバスケット ・ ペーパータワー	14:02 (28分)	進行：WGメンバー 補助：こども局職員全員
3	第3回こども若者会議で出た基本理念「みんなが安全・安心して自分たちの声が尊重され、実現できるまち あかし」について、基本理念と現実とのギャップを埋めるために必要なものは何かについて考える ※前回参加メンバーは前回と同じグループに割り振り ＜基本理念を紐解くために、3分割にする＞ ・ 「みんなが安全で暮らせるまち あかし」 ・ 「みんなが安心して暮らせるまち あかし」 ・ 「自分たちの声が尊重され実現するまち あかし」 について考えよう 【イメージ】	14:30 (35分)	全体のファシリテーター： 片岡一樹（ブレインヒューマニティー） ●各グループ進行支援 赤G： 西川知宏（こども政策課） 平山夢（子育て支援課） 青G： 西林朱音（こども健康課） 永井綾乃（こどもセンター） 緑G： 大野成信（つながる課） 天崎俊樹（児童福祉課） 黄G： 森太郎（つながる課） 福原夢乃（こども育成室）
～ 15:05 休憩（15分）～ ※WGメンバーは、出た意見をテーマごとに3～5つのカテゴリーに分ける作業を行う			
4	休憩中にWGメンバーで分けたカテゴリーから残したいキーワードを挙げ、それぞれのタイトルについて考える	15:20 (30分)	進行：片岡一樹（ブレインヒューマニティー）
5	拡大版こども・若者会議の役割分担について考える	15:50 (10分)	進行：片岡一樹（ブレインヒューマニティー）
6	集合写真撮影 ・ 参加者全員で写真撮影	16:00 (10分)	カメラマン：こども局
7	閉会	16:10	閉会のあいさつ

5 ワークショップ

第3回こども・若者会議で決定したこども・若者会議メンバーによる基本理念「みんなが安全・安心で自分たちの声が尊重され、実現できるまち あかし」について、その実現のために何が必要なのかについて考えるワークショップを実施。基本理念を以下のとおり3分割し、各グループで意見を出し合った。

<基本理念を3分割し、今回のテーマを設定>

- ①「みんなが安全で暮らせるまち あかし」になるためには何が必要？
- ②「みんなが安心して暮らせるまち あかし」になるためには何が必要？
- ③「自分たちの声が尊重され実現するまち あかし」になるためには何が必要？

●グループごとに3つのテーマについて意見を出し合った内容

赤色グループで出た意見

(小4:1名、中3:1名、大学3年:1名)



青色グループで出た意見

(小4:1名、小5:1名、小6:1名、高2:1名)



緑色グループで出た意見

(小2:1名、小4:1名、小6:1名、中2:1名、29歳:1名)



黄色グループで出た意見

(小3:1名、小4:1名、中3:1名、高2:1名、25歳:1名)



6 ワーキンググループメンバーによる意見の整理・分類

各グループの意見をテーマごとに集約し、ワーキンググループメンバーが内容を確認しながら分類するとともに、カテゴリーごとにタイトルを付けました。

①「みんなが安全で暮らせるまち あかし」になるためには何が必要？

医療

- ・けがしてもすぐ救急車がくる
- ・びょうきがない「なおせる」
- ・死人をなくす ・市からの保障が手厚い
- ・しょうがいがある人ともあそべる！

交通

- ・はんざいや交通きそくをまもるまち
- ・市内の人が交通ルールをまもれるまち
- ・どうろに出て大丈夫！
- ・自転車のルールを守る ・交通事故が少ない
- ・見守りの目がある ・道路を広くする
- ・道を作る、道をわける ・道がひろい
- ・道を夜でもあかるく ・車にひかれない
- ・自転車、人、車の道をわけてとおる
- ・おうだんほどうがある！
- ・交通安全をてっていする
- ・じこがおきないまち
- ・資格がないとふかい海にいけないようにする
- ・車、じてん車、人が安全に動いたり自由に行動できるまち

防災

- ・つなみがないこと ・津波が来ても平気
- ・つなみタワーを作る ・資源できるかぎりだいじに ・防犯対策されている
- ・防災ができていするまち（備ちく、防災教育、くんれん）
- ・ぼうさいグッズを市がよういしてくれる！ ・さいがい× ・防災

まちの環境

- ・近所の人と助け合える ・あかるい ・お年寄りの方が使えるコミュニティ
- ・水をきれいに ・車がくると音になる！
- ・清潔 ・公園にさくがあり、小さい子が安全！ ・見とおしの悪い道がないまち
- ・トイレをきれいにする ・せいけつにする ・どこでもゆっくり歩ける
- ・こうばんが多く ・スロープがいっぱいなばしょ ・じしんがないこと
- ・こどもたちの遊ぶ場所の管理がされてる ・水がきれい
- ・ルールと自由のバランスがとれてる ・悩みを気軽に打ち明けれる場所が必要

防犯

- ・ちようえきをながくする ・きけんなことがあると、気づく ・犯罪がないまち
- ・ふしんしゃが少ない ・治安のいいまち
- ・けいさつの人を多くする ・とじまりとかあきすに注意！ ・じけん×
- ・盗難などの犯罪がない
- ・ドラマのやくしゃさんとかがふしょうじをおこさないようにする

その他

- ・みんなでおる ・ひとり ・じゆう ・たのしい ・むてき ・かみ
- ・いたいことがない ・木（がある） ・母（かあさん）がおこらない
- ・おこられない ・ぜんぶたいしょできる ・どこにいてもなにもいわれない



②「みんなが安心して暮らせるまち あかし」になるためには何が必要？

居場所

- ・ いえのちかくになんでもある
- ・ けいさつしょが家から近い！
- ・ 病院がある
- ・ しずかなばしょ
- ・ たべものがある
- ・ 生活に不便がない
- ・ 第三のいばしょ
- ・ うるさくない場所
- ・ 自分がしたいことを否定されないまち
- ・ 人対人で話せる
- ・ しんらい
- ・ 自分のいばしょがある
- ・ カフェを夜だけこども食堂にする
- ・ 自分の居場所がある
- ・ 休けいできる場所がある（暑さ、寒さ）
- ・ かぞくがそばにいる！
- ・ 誰にも邪魔されない空間がある
- ・ おちつける場所がある！
- ・ リラックスできる場所
- ・ しずかに本をよめる場所
- ・ 好きな物がいっぱい
- ・ たのしい
- ・ しずか
- ・ 困った時に相談できる Web？とか？
- ・ 友達となにげない会話をしている時
- ・ 自分のいばしょがあるまち

まなび

- ・ 体験格差のない社会
- ・ 頭がいい
- ・ むちゅうになっているとき
- ・ 学校の先生が分かってくれた時
- ・ みんなが学校に行きたいと思える
- ・ たような学びができる
- ・ 不登校の子のいばしょがある
- ・ おかねがいっぱい
- ・ 先生方の意識を変えてほしい

つながり

- ・ 自由に外出できるまち
- ・ 認められているとき
- ・ じゆうにできるまち
- ・ ひとり
- ・ 家でダラダラしているとき
- ・ 助けてくれる場所がある
- ・ まちの情報が入ってくる
- ・ 笑顔ですてきなまち
- ・ びょうどう
- ・ 人がたくさんいるまち
- ・ 相談相手がいるまち
- ・ 相談スポットがある
- ・ 人と人がつながれる場所
- ・ 必要なサービスを必要な時に受けられる
- ・ 自分じゆうにらせるまち
- ・ みんな
- ・ 自分でじゆうにあそんだりしごとができるまち

環境

- ・ アロマと音楽がったい
- ・ くさくない
- ・ あんぜん
- ・ きれい
- ・ じゆう
- ・ ていきてきにあんしんする曲をならす
- ・ じけん×
- ・ まちがゆたか
- ・ けんかで傷つくことがない
- ・ 平わ
- ・ むのうやく、川の水、やすいお米
- ・ 生活がじゆうにできるまち
- ・ 好きなことをしてリラックスしている時間
- ・ 地球にやさしいくらし（ゴミを再利用したりする）
- ・ 交通事故がない（交通ルールを守る）
- ・ ケンカやいじめをしないまち
- ・ 防犯しっかりしてる
- ・ さいがい×
- ・ きけんがない
- ・ よるに道が明るい！
- ・ 治安がよくてゴミがすくないまち



③「自分たちの声が尊重され実現するまち あかし」になるためには何が必要？

ふんい気

- ・自分の意見が否定されない
- ・おもしろい
- ・たのしい、わくわく
- ・さいこう
- ・しんらいしてる人が多い！
- ・力関係がない
- ・えがおではなしを聞きあえる！
- ・面白い人、話が合う人
- ・話をしっかりと聞いてくれる
- ・家族となら話せる
- ・かんちがいがいい
- ・自分の意見に賛成してもらえる
- ・ともだちになんでもはなせる
- ・ともだちしかいない
- ・上司
- ・友だちがいっぱいいる
- ・同じ思いをもった人たちと話せるまち

場所

- ・議会
- ・プラットフォーム
- ・いつでも気軽にきいてもらえる（SNS等）
- ・意見をいえる場所があるまち
- ・すきに意見を言い合える場所がある
- ・交流の場所がたくさんある

機会

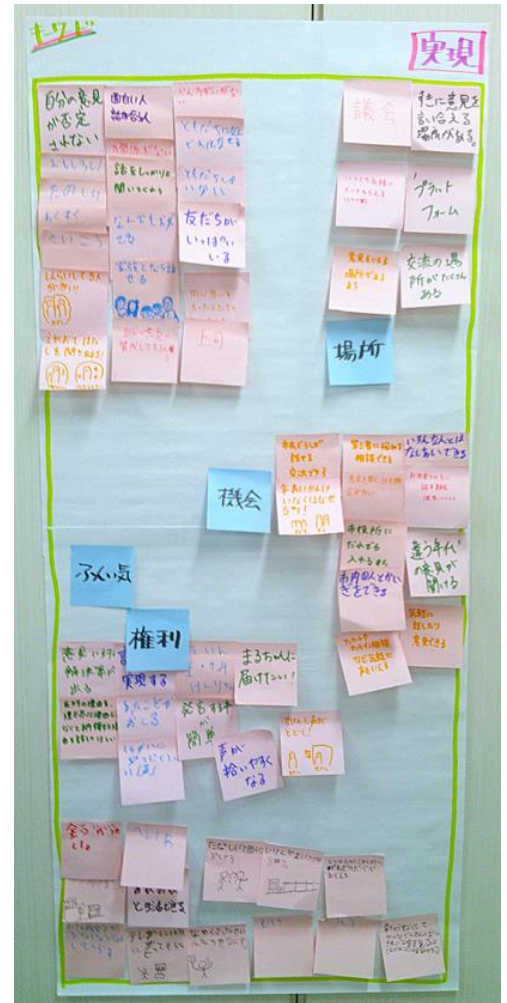
- ・市民どうしが話せる交流できる
- ・年れいかんけいなくはなせるまち！
- ・第三者に悩みを相談できる
- ・意見を聞く、話す機会が多い
- ・市役所にだれでも入れるまち
- ・市内の人とかいぎをできる
- ・アンケートやオンライン相談など気軽に声をいえる
- ・いろんな人とはなしあいできる
- ・お年寄りの方に話す機会（民生委員）
- ・違う年代の意見が聞ける
- ・気軽に話したり意見できる

権利

- ・意見に対する解決策が出る
- ・言ったことが実現する
- ・ゆったことがおこる
- ・しゃかいにとどくとい「声」
- ・発言する事が簡単
- ・まるちゃんに届けたい！
- ・声が拾いやすくなる
- ・せけんに声がとどく！
- ・反対の理由を理不尽な理由じゃなくて納得する理由を話してほしい

その他

- ・全ぶがったい
- ・ぶんかがずっとありつづけるまち
- ・へいわ
- ・いきもの（全）がなかよくきょうりよくしてくらす
- ・ただしいと思いつづける
- ・子どもがのびのびと生活できる
- ・テレビにほうそうしてもらう
- ・ただしいと思いつづける
- ・なめくさったせいふたちをなくす
- ・いけんがありつづけるまち
- ・むてき
- ・じゆう
- ・おとなたちに（みんな）にどれだけだいじかおしえる
- ・電ちゅうをなくしてみんなでんせんのないきれいな空を見る（だいじなことにお金をかける）



7 こども・若者会議メンバーによる施策展開の柱の決定

こども・若者会議メンバー全員でワーキンググループメンバーが仕分けした意見の中から、施策展開の柱を決める上で重要なキーワードについて意見を出し合い、以下の3つが導き出されました。

【テーマ①】

「みんなが安全で暮らせるまち あかし」になるためには何が必要？

<柱を考えるために出た主なキーワード>

「病気やけがをしてもすぐに助けてもらえる」「交通ルールが守られ事故がない」

「防災ができていく（備蓄、防災教育、訓練）」

→「命を守り合えるまち」を目指していく。



柱1・・・まちの環境づくり

【テーマ②】

「みんなが安心して暮らせるまち あかし」になるためには何が必要？

<柱を考えるために出た主なキーワード>

「しずかにできる場所」「落ち着ける場所」「自分の居場所」

→安心して自分らしく過ごせるまちを目指していく。



柱2・・・人と人がつながれて、笑顔で、時に逃げられる 居場所づくり

【テーマ③】

「自分たちの声が尊重され実現するまち あかし」になるためには何が必要？

<柱を考えるために出た主なキーワード>

「いつでも気軽に意見を言える場所（SNS等）」「世代を超えて話せたり交流ができる」「言ったことが実現する」

→誰の声も置き去りにしない「みんなのまち」を目指していく。



柱3・・・少ない意見も平等に伝えられる場所や権利の確保

8 こども・若者会議メンバーで考えた基本理念と施策展開の柱

<図解>

